

2020 年度

授業概要

科目名	基礎作業学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
作業療法の治療手段である作業活動について学ぶ。作業の分類・種類、作業を治療に用いる際の段階付け、作業が心理面に与える影響など作業活動を治療、介入の手段として有効に用いることを学習する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
作業の意味や作業と生活の関係などを考える。治療手段として用いる作業にはどのようなものがあるのかを知る。また、作業工程や作業分析が対象者の作業適用に重要であることを学習する。								
〔講師の実務経験〕								
「2007年4月～2011年3月末まで精神一般病棟、精神療養病棟、精神科デイケア（大規模なもの）を併設した病院に所属する。主な業務は精神科作業療法、認知行動療法を実施していた。2012年～2014年に放課後デイ施設に勤務（非常勤）。知的障害、発達障害、ダウン症児のリハビリに従事した。2015年～2017年に精神一般病棟、アルコール依存症治療病棟、児童思春期病棟を併								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
①作業と作業療法の関係及び分類を説明できる。②作業工程と分析について説明できる。③作業活動の簡単な段階づけを考慮することができる。								
回数	講義内容							
1	作業の定義と分類について ①							
2	作業の定義と分類について ②							
3	治療手段としての作業 作業							
4	作業を知る 目的・効果							
5	作業を知る（作業工程）							
6	作業を知る（作業分析）							
7	事例を通じた作業の使い方							
8	作業分析							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
「ひとと作業・作業活動」第3版	三輪書店	
「ひとと集団・場」－集まり・集めることの利用－第2版	三輪書店	

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験と提出課題にて評価
